

日本中央アジア学会年次大会プログラム

■概要

日程：2014年3月27日（木）～3月29日（土）

場所：藤沢市片瀬海岸 1-7-23

会場・宿舎：KKR 江の島ニュー向洋

■プログラム

3月27日（木）

KKR 江の島ニュー向洋に集合

親睦会

3月28日（金）

<午前部>

チャガイ・アリーナ Chagay Alena（名古屋大学国際開発研究科博士課程）

「ウズベキスタンのコリョサラムのホスト社会における「社会関係資本」

——ロシアと韓国への移住を事例に——」

ヌルマンベトワ アクベルメット Nurmanbetova Akbermet（筑波大学大学院博士
後期課程）

「キルギス共和国における日本の外交政策に関する一考察

——JICA プロジェクトを事例に——」

中屋 昌子（同志社大学大学院博士後期課程）

「新疆ウイグル自治区における「イスラーム復興」および宗教統制の構造と近年の新たな展開について」（仮題）

河野敦史（中央大学大学院博士後期課程）

「清代ハーキム・ベクとムスリム社会との関係に関する一考察
——アフマド・ワン・ベクを中心として——」（仮題）

<午後の部>

ウスモノフ・ファルフ Usmonov Farrukh（筑波大学大学院博士後期課程）

“Shanghai Cooperation Organization: Russian view on Iran’s candidacy”

トフタミルザエヴァ・マシフラホン Tukhtamirzaeva Mashkharakhon（東京外国語大学大学院博士後期課程）

「現代ウズベキスタンの教育事情
——ナマンガンでの現地調査から——」

長沼秀幸（東京大学大学院修士課程）

「ロシア帝国によるカザフ草原統治政策の地域性
——仲介者が示す「忠誠」の分析を通して——」

ヒクマトラエフ・ジャスル Khikmatullaev Jasur（東京外国語大学大学院博士後期課程）

「19世紀末～20世紀初頭のトルキスタンにおける社会問題
——特に人生儀礼（Hatna, To‘y, Aza）について——」

3月30日（土）

<午前の部>

公開パネル・セッション

「資源管理から見る帝国統治と中央アジア
——土地・家畜・水・人——」

司会：小松久男（東京外国語大学総合国際学研究院特任教授）

主旨説明：秋山徹（早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手）

野田仁（早稲田大学イスラーム地域研究機構次席研究員・研究院講師）

「帝国が見るカザフ遊牧民の土地と家畜
——19世紀の紛争解決の事例から——」

小沼孝博（東北学院大学文学部准教授）

「清朝治下の東トルキスタンにおける政治権力と在地商人」

塩谷哲史（筑波大学人文社会系助教）

「水資源と開発をめぐるロシア帝国権力と中央アジア南部定住地域」

秋山徹（早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手）

「人的資源から見るロシア帝国の中央アジア統治
——ジギトを中心に——」

コメンテイタ：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター教授）

※ NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点の共催

日本中央アジア学会総会